

H O R R O R F E S 2014

広げよう、ホラー好き書店員の「ホラーまつり」の輪！

ホラー友だちの輪！

暑い夏にぴったりの怖～い話を集めたユニークなフェアが、開催中です！

このフェア、ホラー好き書店員さんたちが、お店の枠を超えてオススメする「ホラー作品」が並ぶフェアなのです。ぞくぞくと集まってきた本の中には、「あれ？ これって、ホラー？」と思う本が入っているのもおもしろいところです。そう、怖さっていろんなかたちがあるんですよ。本のプロフェッショナルたちが自信を持ってオススメするさまざまな怖さのかたちに触れてみてください。

「ホラーフェアは、自分が好きなので毎年夏に開催しているけれど、実はホラー作品について語りあえる仲間が近くにいなかったんです。今回、いろいろな書店さんに声をかけさせてもらったのも「ホラー友達」が欲しかったというもあるんです！少しでもホラーに興味を持っていただけたら嬉しいです」

佐藤亜希子さん


ホラーまつり主催・中目黒ブックセンター

緻密な推理と論理+身の毛もよだつ恐怖！
これぞ究極の本格ホラーミステリー!!

首無の如き崇るもの

当代随一のホラーミステリー作家・三津田信三が描く、「首無女」にまつわる殺人事件。謎が解き明かされても油断は禁物！真の恐怖が、そこから始まる!!

ときわ書房本店 宇田川拓也



『首無の如き崇るもの』
三津田信三
講談社 / 961円

ときわ書房 (本店)
宇田川拓也さん

伊野尾宏之さん

伊野尾書店 伊野尾宏之

これはホラー小説ではありません
でも本当に怖かったです。
「トムラウシ山遭難はなぜ起きたのか」



『トムラウシ山遭難はなぜ起きたのか』
羽根田治、飯田肇、金田正樹、山本正嘉
山と溪谷社 / 1,026円


伊野尾書店

収録作すべてが極上の恐怖譚という奇跡！
筒井康隆が編む史上最恐アンソロジー

異形の白昼 恐怖小説集

小松左京「くたんののはは」、曾野綾子「長い暗い冬」といった伝説的傑作が勢揃い！この1冊を読まずしてホラー小説は語れない、必読必携の基本図書!!

ときわ書房本店 宇田川拓也




『異形の白昼 恐怖小説集』
筒井康隆 編
筑摩書房 / 972円

※ご購入をお考えのお客様に警告！
読むと呪われる可能性があります。

恐怖箱 怪病

最終話「集団肖像画」を読む際は自己責任でお願いします。もし条件に合致し、呪いや祟りが発動しても、一切の責任を負いかねますので何卒ご了承くださいませ……。

ときわ書房本店 宇田川拓也



『恐怖箱 怪病』
雨宮淳司
竹書房 / 669円

『丘の屋敷』
シャーリー・ジャクソン
渡辺庸子 訳
東京創元社 / 821円




なんと美しく、なんと妖しい怪談か……。
国宝級といへば岡本綺堂読物の極み。

青蛙堂鬼談

男女が百物語形式で披露する怪談の数々。怖い、不気味、でも淫靡なまでに美しく妖しい。一気に読破してはなりません。一晩に一話ずつ、じっくりと味わってください。

ときわ書房本店 宇田川拓也




『青蛙堂鬼談 岡本綺堂読物集二』
岡本綺堂
中央公論新社 / 720円

近藤久実子さん

幽霊など苦手な人は
安心して読んで下さい

いま、殺りにゆきます-RE-DUX-

伊野尾書店 近藤久実子




『いま、殺りにゆきます RE-DUX』
平山夢明
光文社 / 555円

ゾディアック 「事件記者コルチャック」

連続殺人の犯人はゾンバイア？
シニール外魂で事件現場に等間するコルチャックが、事業から目を覚めた新聞社上層部や警察に課され、コルチャックは身も心もボロボロになっていく。絶対的な悪の存在にたどり着くまで、戦う男の姿が、コルチャックには、悪魔の姿を帯び、周囲に見えぬ闇の現代社会を風刺した社会派ホラーの傑作。

ときわ書房本店 宇田川拓也



『事件記者コルチャック』
ジェフ・ライス
尾之上浩司 / 真崎義博 訳
早川書房 / 1,123円

文教堂書店 (三軒茶屋店)

中川浩成さん

小野不由美 「屍鬼」

今日も墓から死者が立ちあがり……

不気味な伝説の残る村社会を舞台に、善悪を備えた人間の果てまで探る。読み進むほど、心に響く恐怖が全身に伝わり、呼吸を止めたかのような恐怖が全身に伝わり、呼吸を止めたかのような恐怖が全身に伝わり……

ときわ書房本店 宇田川拓也




『屍鬼 (一～五)』
小野不由美
新潮社 / 680円～810円

角川文庫 横溝生史 著

「八つ墓村」

幼少時、母に連れられて行った映画館で初めた「恐怖」を体験しました。少し大産くなった原作を読み、横溝氏の世界にとどろりと清かりました。

雲雀ブックタワー 江連



『八つ墓村』横溝正史 KADOKAWA 角川書店 / 821円

書泉ブックタワー 江連聡美さん

新潮文庫 H・ジェームズ 著

「ねじの回転」

すばり、私の卒業の作者です。この作品を機に研究したい!と思いました。19世紀末の近代主義、ゴシックとした屋敷内の暗黒のしれない、もやもや、しじわな怖さがたまらない傑作です。

雲雀ブックタワー 江連




『ねじの回転』
ヘンリー・ジェームズ 露沢忠枝 訳
新潮社 / 529円

スティーヴン・キング 「呪われた町」

文教堂書店三軒茶屋店 中川浩成がオススメ!

この上に建つ呪われた家は、何かが町全体を覆いつくす。呪い、しじわ、不安、恐怖、これでもかというくらいに怖く、怖い。出た瞬間に恐怖が襲ってくる。怖い国夫かかた作家、悪魔を少年、悪魔を老教師、悪魔の強さ、人間に負ける悪魔の強さ、残酷で物足りないゾンバイアホラーの金字塔。

ときわ書房本店 宇田川拓也




『呪われた町 (上・下)』
スティーヴン・キング 永井淳 訳
集英社 / 各823円

ジャック・ケッチャム 「ザ・ウーマン」

人間VS人喰い人種 本当に怖いのには2-5-1?

濃密な描写の果てに世界が覆う。暗黒時代に刻まれた強烈な女王の物語。Cry Havoc! and let slip the woman of war!

ときわ書房本店 宇田川拓也



『ザ・ウーマン』
ジャック・ケッチャム
金子浩 訳
扶桑社 / 864円

※書籍の価格は税込です

みちのく怪談名作選

怖ろしい…
でも、懐かしいのは
何故だろう。

戸田書店山形店 笠原

みちのく怪談名作選
東雅夫 編
荒蝦夷 / 2,376円

現代実話風
琉球怪談
闇と癒しの百物語
怪あふれる地、沖縄。
あまりにもリアルな
怪談実話百話!!

戸田書店山形店 笠原

『琉球怪談』 小原猛 ポーダーインク / 1,620円

書泉ブックマート
山田麻紀子さん

KADOKAWAホラー小説
岩井志麻子 著
「ぼっけえ、きょうてえ」

単行本版で読んだ時
じつとりと逃げられない不快な怖さが
怪談ってこういうものだと思いました。
ふとつけたラジオが流れたら
もう明りを消せなくなりましたね。

書泉ブックマート 山田 (麻)

『ぼっけえ、きょうてえ』
岩井志麻子 KADOKAWA 角川書店 / 514円

戸田書店 (山形店)
笠原裕介さん

怪談実話
無惨百物語 **はなさない**
黒木あるじ

ただでさえ怖い怪談実話。
この著者が書くとお数倍怖くなる。
それか百物語だから…

怖さ 数倍!!

戸田書店山形店 笠原

『怪談実話
無惨百物語 はなさない』
黒木あるじ
KADOKAWA メディアファクトリー / 680円

書泉グランデ 高松亮二さん

角川ホラー文庫
法条遥 著
「パイロケーション」

ラスト、「もう一人の自分がある」
本当の恐怖が訪れる。
そして迎える「最後の結末」
どうが目をそらすくない下さい。

書泉グランデ 高松 お薦め!

『パイロケーション』 法条遥
KADOKAWA 角川書店 / 720円

ハヤカワ文庫
スーザン・ヒル 著
「黒衣の女 ある亡霊の物語 新装版」

これまた
嫌な感じのラストが秀逸です。
。。。そんなんばかり読んでいますね。

書泉グランデ 高松 お薦め!

『黒衣の女』
スーザン・ヒル 河野一郎 訳
早川書房 / 734円

光文社古典新訳文庫
ブラックウッド・アルジャーノン/著
南條竹則/訳
「秘書綺譚 ブラックウッド幻想怪奇傑作集」

一気に読むより、夜少しだけ
ゆっくり読んでみたい。
目を閉じて大声を上げながら
耳をふさぎたくなるような怖さではなく
何かの気配を感じた頭をあげるような
短編集です。

書泉ブックマート 山田 (麻)

『秘書綺譚 ブラックウッド幻想怪奇傑作集』
ブラックウッド 南條竹則 訳
光文社 / 1,008円

三省堂書店 (神保町本店) 内田剛さん

『墓地を見おろす家』 小池真理子

加齢の爪が伸び出す
平凡な幸福と背中合わせのホラーサスペンス

絵に描いたような家族の幸福が、徐々に目に見えない魔物に侵されていく。
些細な違和感が消し去ることのできない巨大な恐怖に育つまでの描写は、
目を背けたくなるほどリアルで、まさに見事の一書!

三省堂書店神保町本店 内田剛さんおすすめ!

『墓地を見おろす家』
小池真理子
KADOKAWA 角川書店 / 605円

山下書店 (渋谷南口店)

香月孝之さん

『深泥丘奇談』
綾辻行人

『深泥丘奇談』
綾辻行人
KADOKAWA 角川書店 / 648円

『深泥丘奇談』
綾辻行人
KADOKAWA 角川書店 / 648円

三船咲さん

路地裏の冷たく湿った
空気を吸い込んだような
ぞくりとする読後感

夏の夕暮れに読みたい一冊です

『きつねのはなし』
森見登美彦
新潮社 / 562円

『きつねのはなし』
森見登美彦
新潮社 / 562円

中目黒ブックセンター
佐藤亜希子さん

『赤眼』 三津田信三

『赤眼』
三津田信三
光文社 / 648円

『赤眼』
三津田信三
光文社 / 648円

『都市伝説じゃありません』
小泊

『都市伝説じゃありません』
小泊

『異界ドキュメント
白昼の魔』
高橋ヨシキ
竹書房 / 689円

『異界ドキュメント
白昼の囚』
高橋ヨシキ
竹書房 / 689円

『ゴースト・ハント』
H・R・ウェイクフィールド
鈴木克昌 訳
東京創元社 / 1,296円

『ゴースト・ハント』
H・R・ウェイクフィールド
鈴木克昌 訳
東京創元社 / 1,296円

都内大学購買部
小泊末緒さん

人間が一番怖いんです

全部実話です。
人間はゴキウで残酷になれるのです。
十カ十一口、ルーガス、パンティ
世界の凶悪犯の生い立ちがわかります。

小泊

『異常快樂殺人』
平山夢明
KADOKAWA 角川書店 / 720円

『蜘蛛』 遠藤周作

『蜘蛛』
遠藤周作
出版芸術社 / 1,572円

『蜘蛛』
遠藤周作
出版芸術社 / 1,572円

広げよう、
ホラー好き書店員の
「ホラーまつり 2014」
ホラー友だちの輪!

暑い夏にぴったりの怖〜い話を集めた
ユニークなフェアが、開催中です!

※書籍の価格は税込です